

事務事業名	百田保育所保育活動費		所属部局	保健福祉部		単位番号	5146	
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	百田保育所		課長名	伊藤 香代子	
			所属担当	百田保育所		担当者名	伊藤 香代子	
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目
政策	17	社会福祉の充実	01	一般	03	02	04	050 06
施策	28	児童福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	児童福祉法・保育指針・南アルプス市立保育所条例 南アルプス市立保育の実施に関する条例・南アルプス市立保育の実施に関する条例施行規則				
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 保育所嘱託医報償、講師謝礼、職員旅費、教材等消耗品、世代間交流事業食料費、保育証書等印刷代、教材・器具等修理代、給食賄い費、児童ぎょう虫等検査料、職員検便検査料、バス借上料、職員研修負担金 児童保育に関わる運営経費 児童数の増加、減少が影響する。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 報償費 264 負担金、補助及び交付金 5 旅費 10 需用費 8,087 役務費 324 使用料及び賃借料 80 計 8,770				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 : 予算の執行 児童に関する各種事業の執行(キッドピクス・読み聞かせ等) 27年度活動予定 : 予算の執行 児童に関する各種事業の執行(キッドピクス・読み聞かせ等)	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア: 予算額 6万円 イ: 保護者が係る事業数 7件 ウ:
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	① 入所児童 ② 保護者	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア: 児童数 人 イ: ウ:
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	児童が健やかに育つ	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア: 4月1日 新入所・転入児童数 167人 イ: 4月1日 在所児童数 140人 ウ: 卒園児数 42人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	安心して子育てができる環境づくり	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア: 保護者への満足度アンケート(保育所評価) 0.8 イ:

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	8,911	10,124	9,527	9,750	0	0	
		事業費計(A)	千円	8,911	10,124	9,527	9,750	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	8	8	8	8			
		延べ業務時間	時間	15,360	15,360	15,360	15,360			
		人件費計(B)	千円	69,903	69,903	69,903	69,903	0	0	
		(A)+(B)	千円	78,814	80,027	79,430	79,653	0	0	
活動指標	ア: 6万円 イ: 7件 ウ:	7,404,313.0	7,404,313.0	7,404,313.0	7,404,313.0	7,404,313.0	15,360.0			
対象指標	ア: 人 イ: ウ:	161.0	164.0	164.0	164.0	164.0	174.0			
成果指標	ア: 167人 イ: 140人 ウ: 42人	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0			
		118.0	118.0	118.0	118.0	118.0	118.0			
		41.0	41.0	41.0	41.0	41.0	41.0			
上位成果指標	ア: 0.8 イ:									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	白根百田保育所は、百田第1保育所と百田第2保育所が合併し、平成2年定員150人で開園しました。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	入所児童も多く在籍3歳未満児が年々多くなり、遊戯室を年長児の部屋として使用している状況。乳幼児の特に1歳児入所希望の増加。年長児の部屋を未満児室に変更。保護者の理解も得て、25年度スタート
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	保幼小の連携の不可欠である事をふまえ、児童や教諭との交流会・研究会の開催の試行、良かったとの自己評価から今年度も継続していく。未満児途中入所希望の受け皿ができ、地域の保育所として保護者にも喜ばれた。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	・職員給与費を本課に一括計上し、事務の効率化を図った。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	・事務経費の節約を図る。

事務事業名	百田保育所保育活動費	所属部	保健福祉部	所属課	百田保育所
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 児童福祉の充実
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 未来を担う児童に対して、公共性のある保育サービスの提供は今後必要 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 児童福祉の充実を図るために事業の必要性は高い。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 保育活動においては様々な活動方法があり、手法次第で必要最小限の経費で大きな成果につながるがあるので検討する。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 設備・施設の大きさから無理である <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 保護者が安心して勤務する事が不可能になる <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 保育に欠ける児童の保育を行なっているため
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 これ以上の削減はできない状況である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 朝7時30分から夜7時までの開所のため、11時間30分保育展開の為人員確保は必要です。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 入所児童には公正公平です。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	子育て支援のもつ意義からも最重要事業として継続していかなければならない。 育児休暇が終了した保護者の児童・未満児の途中入所の受け入れ・発達障害児の増加など、保育士の配置基準の見直しが必要であると思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 南アルプス市としてのCLMのマニュアルをとり入れた保育の展開・体力向上に繋がる保育内容の実践・保育士の質の向上など継続した取り組みが今後も重要である。南アルプス市の保育の独自性へと繋がっていく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ・保育内容の実践や保育士の質の向上など継続した取り組みを続け、定期的に取り入れていく。 ・地域・保護者に積極的に声をかけ、地域の資源や人材を有効活用していく。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					